

「第14回 みやこ祭」 みやこ祭 スポーツフェス 報告

2018/11/03



みやこ祭 スポーツフェス

11月3日(土)、「第14回 みやこ祭」の最終日に、南大沢キャンパス体育館及び球技場にて、「みやこ祭スポーツフェス(主催:ボランティアセンター・健康福祉学部)」を開催し、参加した333人の方が各競技を体験されました。スポーツボランティアプログラムからは、3年目(リーダー)の学生が3人、2年目(サポーター)の学生が3人、1年目の学生が9人、計15人が参加しました。

「みやこ祭スポーツフェス」では、スポーツボランティアプログラムと大学祭実行委員会の学生が中心となり、準備や運営を行いました。体験していただく競技種目も学生たちがこれまでボランティアとして参加した障がい者スポーツのイベントや自分たちが小学校で実施したスポーツ体験会での経験を踏まえて考え、信太奈美先生(本学健康福祉学部 理学療法学科 助教)をはじめとした教職員と話し合いながら決定したものです。

「車いすバスケットボール」「車いすテニス」の体験では、現役選手にお越しいただき、実際にプレーを見せていただいたり、競技体験の中でアドバイスをしていただいたりしました。

さらに、「車いすバスケットボール」の体験では、信太奈美先生に、「車いすバドミントン」「車いすテニス」の体験では、神保秀久先生(本学健康福祉学部 特任助教)に、ご協力いただき、運営しました。

昨年度に引き続き実施した「車いすバスケットボール」の体験では、日本のトップチームである「埼玉ライオンズ」の選手から競技用車いすの乗り方等についてご指導いただき、選手と一緒に試合を行いました。現役選手によるデモンストレーションは、迫力満点です。車いす同士が激しくぶつかる音や華麗なシュートを間近で見せていただき、参加者・見学者も大興奮でした。

また、会場内には、常時フリー体験スペースを設置し、試合に参加しない方にも気軽に「車いすバスケットボール」を体験していただきました。

～体験した方の感想～

- ・「車いすバスケの激しさに驚きました。」
- ・「車いすバスケは、車いすのコントロールが難しく、ボールを投げるのに力が入らなかった。選手の皆さんのスピードが速くてびっくりしました。」
- ・「普段バスケをしている時と感覚が違うため、とても新鮮だった。」
- ・「思ったより車いすが軽くて、小回りがきくことに驚きました。全くゴールできなかったですが、車いすバスケの体験ができて良かったです。選手の皆さんのプレイはスピード感があり、迫力がありました。近くで見ることができて良かったです。」

「車いすバドミントン」

10:00~13:00

「車いすバスケットボール」

10:30~11:30、13:00~14:00、
14:30~15:30 の3部制



「車いすバドミントン」では、的確にシャトルを打ち返す技術に加え、慣れない車いすの操作が必要になります。普段バドミントンをしている方でも、思い通りの場所に移動できない等、苦戦している様子が見られました。短時間の体験の中



プログラム参加学生による打ち合わせ



フリー体験スペースでは、常時車いすバスケットボールの体験を行いました！
(車いすバスケットボール)



小さなお子さんも学生たちと一緒にスポーツを楽しんでいました！(車いすバドミントン)



ボールを打ち返す練習(車いすテニス)

で上達した参加者の方は、大学生と楽しそうにラリーを続けていました。

～体験した方の感想～

- ・「移動が難しかったけど、楽しかったです」
- ・「車いすに初めて乗ったので、バドミントンはできても、事前に動く難しさがありました」
- ・「車いすバドミントンは難しかったけれど、8回くらい連続でラリーができた時は楽しかった!!」

「フライングディスク」

10:00~13:00



「フライングディスク」では、東京都障害者スポーツ大会の競技でもある「アキュラシー」の体験を実施しました。アキュラシーはディスクをゴールに向かって10回投げ、その通過回数を競う競技です。参加してくださった方の中には、親子で競い合っている方もいらっしゃいました。上手く投げられず、何度も挑戦している方がいたり、ゴールとの距離を縮めて大学生のサポートを受けながら投げられる未就学児がいたりするなど、とても盛り上がっていました。

～体験した方の感想～

- ・「フライングディスクのコントロールが難しかったけど楽しかったです」

「車いすテニス」

13:00~16:00



「車いすテニス」の体験では、2名の現役選手による指導のもと、競技体験を行いました。

車いすテニスでは、打球のスピードが速い分、ボールが来る場所を先読みする等、ボールが来る場所へ素早く動きが鍵になります。前後左右に素早く車いすを切り返し、ボールの落下点へ移動する選手の動きには、一切無駄がありません。参加者の方々は競技を実際に体験することで、改めて、選手の動きの凄さを実感していました。サーブのデモンストレーションをしていただいた際には、目で追えないほどの打球の速さに参加者の方々から歓声が上がっていました。

～体験した方の感想～

- ・「足を使わないで行うのは難しいんだなと感じました。指導してくれたお兄さんのサーブがめっちゃ

ちゃかっよかったです！」

- ・「最初は車いすの操作で精一杯でしたが、最後は移動できるようになったのでうれしかったです。」
- ・「ラケットを持ちながら車いすの操作は難しかったが、とても楽しかったです。」

「ポッチャ」

13:00~16:00



「ポッチャ」体験では、小さいお子さんからシニア世代の方まで幅広く競技を体験していただきました。ポッチャは、東京2020パラリンピックの公式種目となっており、人気が高まっています。ポッチャ初体験の方や学校の授業の中でポッチャを体験したことがある子ども等、競技経験は様々でしたが、スポーツボランティアプログラムの学生の競技説明によってルールを知り、その楽しさや難しさを実感していただくことができました。

～体験した方の感想～

- ・「ポッチャは簡単そうに見えてコントロールが難しかった。」
- ・「ポッチャが楽しかった！思った以上に楽しかった！」

「ラグビーパーク2018」

10:00~13:00



球技場では、「ラグビーパーク2018」として、首都大学東京ラグビー部によるラグビー体験会を実施しました。ラグビースクールの子もたちに加え、球技場近くを通りかかった初心者の子もたちも参加し、ラグビーボールを使って「パス」「トライ」の体験をしました。青空の下で気持ちよさそうに走り回る子どもたちの姿や子どもたちと一緒に楽しそうにラグビーをするラグビー部の学生たちの笑顔が印象的でした。

～体験した方の感想～

- ・「いっぱいラグビーをできてよかった」
- ・「年少（3歳）の息子が体験してもとても楽しめる内容でした。」
- ・「らいねんもきます。」



車いすテニスや車いすバスケットボールの選手も各競技を体験されていました！（フライングディスク）



ラグビー部の学生を抜いてトライ！（ラグビーパーク2018）

～参加学生の感想～

・「自分自身もフライングディスクをするのが初めてだったので、来てくださった方々と共にフライングディスクを楽しむことができました。様々な年代の方々に楽しんでもらえるスポーツと聞いていただけに、子どもからご両親、学生やお年寄りの方々まで幅広い方が楽しんでくれたことが最も印象に残った。」

・「フライングディスク体験の受付やディスク渡しを通して、来てくださった方々と交流できたので良かったです。フライングディスクに興味をもってくださる方も多く、やりがいを感じました。」

・「私は車いすバドミントンを担当しましたが、空いている時間に実際に車いすに乗った状態でのラリーを体験できたことで球出しをする際にどこにどれくらいの強さの球を出せばやりやすいか等の参考になったし、自分自身も競技の楽しい部分、難しい部分を知った上で来た人たちに接することができて良かったです。」

・「みやこ祭ということもあり、本当に多くの方に来てもらえたと思います。中でも、ケガなく安全にできたことが良かったです。体育館が遠いので、来るのが大変だったという方もいましたが、プログラムを充実させることができ、体験した方は満足そうな表情をしていたので良かったです。」

・「（車いすバドミントンについて）打ち返しやすい位置まで車いすを動かしたけど正面を向けずに横向きの姿勢で打ち返したり、最初は車いすに乗るのも怖がっていた方が体をのけ反らせながら打ち返していたり、夢中になって楽しんでもらえた。ポッチャでは、ポッチャのことを知らない人が大半だったが、1回体験して流れが分かると、2回、3回と何回も体験する方が多かった。ポッチャの奥深さ・魅力を伝えられたと思う。東京2020パラリンピックについても多くの人に関心をもってもらえたと思うので良かった。」